

経歴および分析支援可能な知識・経験

産学官連携インフラ戦略推進プラットフォーム
Strategic Platform for Infrastructure Value Enhancement



(おひら ゆうき)
大平 悠季

所 属 東京都立大学
資 格 博士(工学)

対象インフラ

道路、鉄道、中心市街地

専門分野

交通ネットワーク解析・交通行動分析

対応可能地域

全国(首都圏・関西圏・山陰地方には多少の土地勘もあります)

連絡先

ohira@tmu.ac.jp

※メール送付の際は「Σ」を「@」に変えて送信ください

相談方法

オンライン、対面、メール

◆ 経歴・各種委員・講師経験など

【最終学歴】

2018年3月 神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 博士後期課程修了, 博士(工学)

【職歴】

2016年3月～2020年9月 鳥取大学 工学部 助教

2020年10月～(至現在) 東京都立大学 都市環境学部 助教

【委員等】

2017年4月～2021年3月 鳥取市指定管理者選定委員会 委員／副委員長

2020年4月～2021年3月 鳥取市鳥取駅周辺再生基本構想(第2期)策定委員会 副委員長

2021年4月～(至現在) 八王子市開発審査会 委員

2024年6月～(至現在) 小平市指定管理者選定委員会 委員

◆ 分析支援可能な知識・経験

【主な分析実績】

- 主体間相互作用と混雑を考慮した最適交通料金政策の理論的検討
- 企業の取引関係が立地に与える影響の実証分析
- 街路空間構成に着目した中心市街地の賑わい形成要因の分析 など

【主な分析スキル】

- 都市・地域システムの経済分析
- 統計的因果推論(操作変数法, 傾向スコア分析), 多変量解析(共分散構造分析など)
- 地理空間情報分析, GIS

【これまでの経験をふまえたメッセージ】

- 現象の本質を捉える理論モデルの構築・解析, および導出した理論仮説の実証的検証の往復によって, 複雑な社会システムの構造を解明することに关心を持っています。
- 実証分析については, アクセスの機会に恵まれたビッグデータや自らの調査によって収集したデータを組み合わせ, 都市圏からストリートまで多様な空間スケールを対象に取り組んできました。
- 都心・郊外・地方のいずれにも居住してきた経験を活かし, 各地域それぞれの発展の過程や固有の課題と真摯に向き合い, 政策の評価や検討にお力添えできれば幸いです。

◆ 業務・学術論文実績

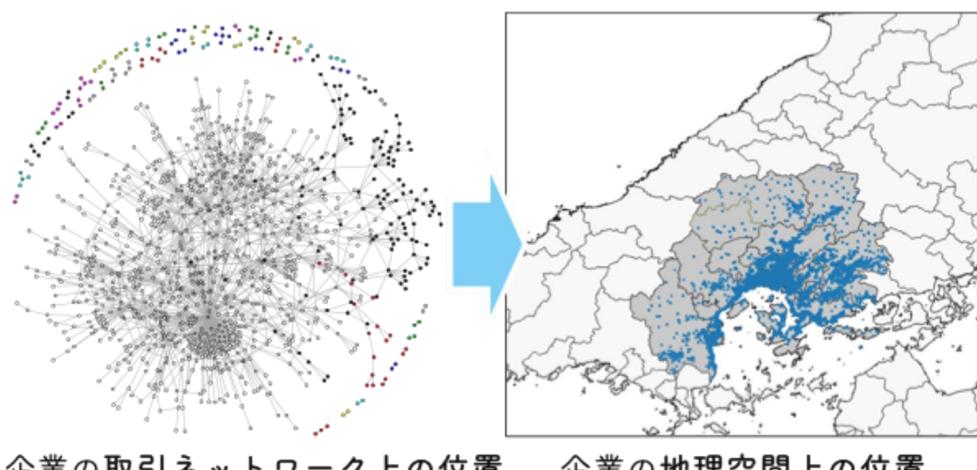
【業務実績】

- 2025年9月～「DMOの地域経営戦略に向けたデータ活用モデル調査事業」における宮古島観光協会へのコーチング業務(観光庁)

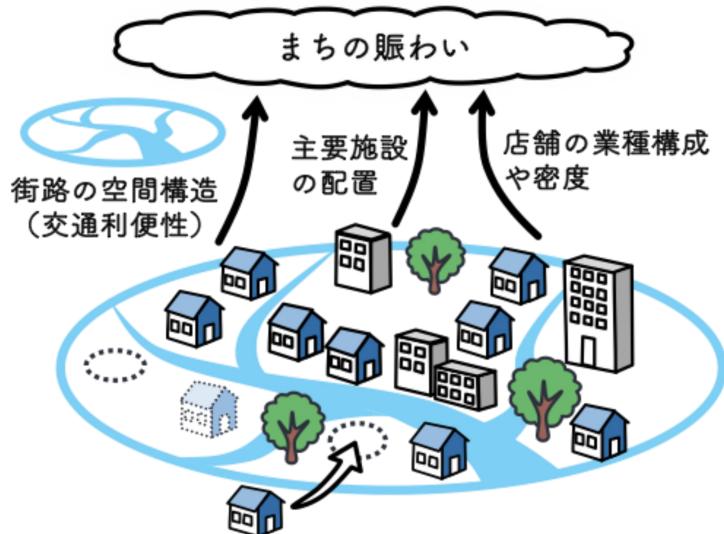
【学術論文実績(査読付き)】

- 伏原穂高, 大平悠季, 清水哲夫, 集計プローブデータを用いた自転車交通量と通行空間整備・周辺環境の関連分析, 土木学会論文集, Vol.80, No.20, 24-20141, 2024.
- 谷口晃晴, 大平悠季, 原野恵子, 清水哲夫:観光地域づくり法人(DMO)による観光地域づくり活動のSROI評価の試み, 観光研究, Vol.36, No.3, 2024.
- 織田澤利守, 大平悠季, 交通インフラ整備効果の因果推論:論点整理と展望, 土木学会論文集D3(土木計画学), Vol.75, No.5, pp.I_1-I_15, 2019.
- 大平悠季, 桑野将司, 中川貴裕, 空間構造に着目した中心市街地の賑わい形成要因の分析, 土木学会論文集D3(土木計画学), Vol.75, No.5, pp.I_387-I_397, 2019.
- 大平悠季, 織田澤利守, 社会ネットワークを通じた相互作用と混雑を考慮した最適交通料金政策の進化的遂行, 土木学会論文集D3(土木計画学), Vol.72, No.5, pp.I_373-I_382, 2016.

◆ 取組事例



【事例1】大都市圏(広島, 札幌など)を対象に、企業間の取引関係が地理空間上の位置に及ぼす影響を因果推論の手法により検証(論文3.,5.と関連)。



【事例2】地方都市の中心市街地を対象に、交通利便性や施設立地などの空間構成に着目し、賑わいを形成する要因を分析(論文4.と関連)。